

モコ宮脇保育園

2019年度アンケート集計 在園児 11中 11人

卒園児 7中 7人

合計 18人

		項 目	5	4	3	2	1
運 営	1	保育園の保育方針について知ることができていましたか	8	7	3	0	0
	2	日頃の保育は基本的な考え方に一致していましたか	11	5	3	0	0
環 境	3	園内の衛生管理は適切に保たれていましたか	12	5	1	0	0
	4	施設の安全・防犯管理は適切でしたか	12	4	2	0	0
	5	保育園内外の環境はお子さんが落ち着いて過ごせる環境でしたか	13	2	3	0	0
	6	発育や意欲を促すような環境が用意されていましたが	12	4	2	0	0
保 育	7	登園時、職員はお子さんの健康状態や家での様子を確認していましたか	15	2	1	0	0
	8	職員はお子さんを理解し丁寧に保育していましたか	16	0	2	0	0
	9	職員は園でのお子さんの様子について話をしていましたか	14	3	1	0	0
	10	発達に合わせ豊かな感性を育む遊びや活動が行われていましたか	13	5	0	0	0
	11	外遊びや散歩は十分行われていましたか	16	2	0	0	0
	12	保育中の発熱や病気への対応はお子さんにとって適切でしたか	14	3	0	1	0
	15	保育中に起きた事故ケガに対し責任を持った対応ができていましたか	14	2	1	1	0
給 食	16	給食やおやつのお立ちは内容が豊富で変化に富んでいましたか	13	3	2	0	0
	13	食育活動や行事食の内容に満足されていましたが	15	1	2	0	0
保 護 者	14	保護者の方から相談や意見は伝えることができていましたか	11	5	1	0	1
	17	保護者の方が参加しやすいように行事が配慮されていましたか	12	4	2	0	0
	18	行事などでの保護者間の関係づくりは適切でしたか	11	3	4	0	0
	19	園と地域の方や地域の施設との交流は適切でしたか	13	4	1	0	0
要 望	19	不満やトラブルへの職員対応は的確でしたか	10	5	3	0	0
	20	保護者の意見をもとに改善が行われていましたか	9	5	3	1	0

※人数表記

	良い	気がかり
1、保育方針	9人	0人
2、施設設備	2人	3人
3、職員の対応	14人	1人
4、給食	11人	0人
5、安全確保のための配慮	4人	1人
6、保護者と園との関係	8人	2人
7、保護者からの意見などへの対応	0人	1人

ご意見ご要望	園より
参加会の時、一部の先生の対応が厳しいと感じました。	園内研修の中で子どもに対する対応について、職員一同で繰り返し学び合っていきたいと思います。心の発達が大きな年齢であることを配慮し子ども達に添った保育をより意識できる職員体制を目指していきます。
先生の妊娠を早く知っていたら、気遣うことができたのに残念	ご心配をおかけして申し訳ありませんでした。産休に入らせて頂く時に保護者の皆様にもお知らせするようにしています。お気遣いありがとうございます。
お迎えの時に子どもの様子を聞けない日があり、淋しい思いをしました。	園であった可愛いエピソード 今後も保護者の皆様にたくさんお伝えしていこうと思います。口頭だけでなく、担任からは連絡ノートでも1日の様子をお伝えするようにしていますので、ぜひご覧ください。
モコバスでのお出かけやゲンちゃん先生、ご近所の方のご厚意での収穫体験等恵まれた環境で良い経験ができました。	<p>たくさんの温かなコメントありがとうございます。</p> <p>まだまだ至らない点も多く、もっともっと子ども達のためにステキな保育ができるように、職員一同研鑽を重ねていきたいと思っています。</p> <p>今後ともご支援ご協力をお願い致します。</p>
1度も嫌がることなく通え、子どもだけでなく親にも寄り添ってくれる園だと思います。	
自信を持ってお勧めできる園に出会えてよかったです。	
園の様子も細かく教えてくれたり、どの先生も全員の子どもの事をしっかりわかっている。	
自分一人だと悩むことも先生方のアドバイスのおかげで上手に子どもと向き合えたと思います。絵本もたくさん借りることができたので、絵本大好きな子になりました。	

職員評価

昨年度培われた基盤は揺らぐことなく、職員ひとりひとりが「子ども達主体」を考え、自らも主体的に保育を動かしていった1年であった。今年度から取り入れた若手職員による研修も各々が研修を仕切る立場になることで、研修に向けて学んだり、話し合ったり、研修に至る過程の中でも切磋琢磨できたのではないかと思う。

また、視点の共通理解も、日々の保育の中で子ども達の姿を追いながら互いに語ったり、ドキュメンテーションとして保護者にも掲示してきたことで、ずいぶんと互いの保育観を感じることができ、良い意味で職員同士の距離が縮まったと思う。

今後の課題として、保育としては何となく分かっている園としての方針や理念をはっきりと読み解き、各保育士が「モコの保育はこんな保育です！」と自信をもって語れるような共通理解をしていけるようにしたい。体の発達だけでなく、子どもの見逃してはいけない心の動きも発達段階を追いながら、各職員がしっかりと理解すること。大人はどう対応していくのかを意識できること。この2点を学び合っていきたいと思う。

保護者アンケート・職員評価をもとに総評

アンケート・職員評価共に、「園としての方針」をもっと明確にしていくべきだと感じた。様々な家庭があり様々な考えがある。

園として「保育」を詳しく伝えていくことで、今後園を選ぶ保護者にとってもわかりやすく、互いに子どもを育て合う家庭と保育園との共有できることが増えていくのではないかと思う。

また、引き続き保育の質の向上のために、職員資質向上は課題としていきたい。保育分野に限らず、コミュニケーション力を向上させることによる人的環境の向上(地域とのつながり等)、また地域資源を最大限に生かし、子ども達にステキな環境を提供できるよう、多角的な視点を持ち保育環境を広げていけるよう、十分な研修や語り合いをしていきたい。

自園の最大の魅力はやはり「保育士」ではないかと思う。ていねいに子ども達と接し、保護者とのやり取りの中で交わされる子ども達ひとりひとりの魅力の共有は小規模園ならではの物である。「子育てのたのしさ」を感じてもらえるよう今後も保護者との語り合いを大切にできるよう意識していきたい。